

第2章 将来像の実現に向けて

多様な主体と連携した
区政運営の推進
(国内外の都市・地域との連携)

現 状

豊かな区民生活の実現に向けて、姉妹・友好都市をはじめ各地域との幅広い交流を進めるとともに、それぞれの地域社会が抱える課題の解決にとともに取り組み、地域活性化と相互の発展を図ることが重要視されています。

国は、人口減少や少子高齢化に的確に対応し、将来にわたって活力ある社会を維持していくことを目的として、平成26年11月に地方創生の理念などを定めた「まち・ひと・しごと創生法」を制定しました。

また、平成26年9月には、特別区長会が「特別区全国連携プロジェクト」を立ち上げ、東京を含む全国各地域が、生き活きとしたまちづくりを進め、ともに発展・成長し、共存・共栄を図る取り組みを推進しています。

これまで区では、国内8都市、海外3都市と姉妹・友好都市を提携し、さらに特定分野における連携に関する協定を国内3都市と新たに結ぶなど、各地域の特色を活かした様々な交流を展開しています。

また、平成28年度より姉妹・友好都市をはじめ全国各地の自治体が特産品や文化・観光情報をPRする「ふるさとPRフェスタ」を開催し、平成29年7月には全国各地の自治体が各地の魅力を発信していく「ふるさと交流ショップ台東」を開設するなど交流の更なる推進を図っています。

さらに、特別区全国連携プロジェクトの一環として、新たに広域連携を推進していくため、北海道十勝地域との交流を進めています。

課 題

日本全体として人口減少社会にある中、地域活性化と相互の発展を目指していくためには、全国各都市・地域との連携をさらに深め、互いの魅力を高め合いながら、共存・共栄を図る取り組みを進めていくことが必要です。

また、幅広い視点により、相互の地域社会を取り巻く様々な課題の解決を図るため、広域的な自治体連携を推進していく必要があります。

さらに、自治体間の交流だけではなく、地域住民主体の交流をより一層活性化していくことも求められています。

加えて、東京2020大会の開催や訪日外国人旅行者の増加を背景とした国際化の気運が高まっていることから、区民の国際理解を深める取り組みをさらに進めていく必要があります。



10年後の目指す姿

- 様々な分野における区民主体の交流がより一層推進され、活力ある地域社会が形成されています。
- 様々な海外都市などとの交流を通じて、区民などの国際感覚がより豊かに醸成されています。

主な取り組み

●自治体間の交流推進

全国各地の自治体と幅広い交流を進め、相互の理解と信頼を深めるとともに、互いの魅力を高め合いながら、台東区と交流自治体の地域活性化と発展を図ります。

●広域的な自治体連携の推進

互いの持つ資源や特長・先進的な技術などを活かした複数の自治体による広域的な交流を図り、更なる地方創生に向け取り組みます。

●区民などの参加促進

姉妹・友好都市などとの交流事業に関する情報を収集・発信する機能を充実し、区民などが参加しやすい環境づくりを進めるとともに、参加意欲の向上を図ります。

●海外都市などとの交流推進

海外都市などとの交流を通じて、多様な文化や価値観に触れ区民などの国際理解を深めるとともに、区の魅力を広く発信します。

施策の指標

指標名	現状 (2018年度末)	目標		出典
		(2023年度末)	(2028年度末)	
姉妹・友好都市などとの交流事業数	年77件	年85件	年90件	所管課調べ

区の姉妹・友好都市一覧

都市名	概 略	提携の動機
墨田区 (昭和52年4月10日提携)	中小の事務所や工場が住宅と混在するいわゆる「下町」である。東京スカイツリー周辺は東京東部の新たな観光名所となっており、下町文化と先進機能が融合する地域である。	隅田川をはさんで隣接し、また、同じ東京の下町として密接な繋がりを持つ両区が、共に協調し交流と相互協力を深めることにより、区民生活の向上をはかる。
オーストラリア ノーザンビーチ市 (旧マンリー市) (昭和57年8月14日提携)	シドニーからフェリーで30分のリゾート地。マンリービーチは絶景で、サーフィンやライフセービングが盛ん。平成28(2016)年5月にマンリー市、ワリンガー市、ピットウォーター市が合併し、ノーザンビーチ市となる。	昭和55(1980)年のマンリー美術館での日本美術展の開催、昭和57(1982)年の日豪民間シンポジウムをきっかけに、市民相互の異文化交流の発展をめざし提携している。
宮城県 大崎市(旧古川市) (昭和59年1月14日提携)	「ササニシキ」や「ひとめぼれ」発祥の地で、有数の米どころとして知られ、大規模な畜産や野菜の生産も盛ん。仙台牛の産地である。開湯千有余年、鳴子温泉郷は日本の天然温泉11種類(旧泉質名)のうち9種類の泉質と豊富な湯量で、国内外から観光客が訪れる。 平成18年3月31日に、古川市、松山町、三本木町、鹿島台町、岩出山町、鳴子町、田尻町が合併し、大崎市となる。	東北新幹線の開通を機縁として生まれた信頼と友情の絆をゆるぎないものとし、一層の相互交流を行うことにより互いの繁栄と発展を目指す。
長野県 諏訪市 (昭和59年7月10日提携)	諏訪湖の東岸に位置し、諏訪大社、霧ヶ峰高原、豊富な温泉等の観光地を有する。諏訪大社で7年目毎に行われる天下の大祭「御柱祭」や「諏訪湖祭湖上花火大会」は全国的にも有名である。	四半世紀にわたる「霧ヶ峰学園」の運営、そして新たな少年自然の家「霧ヶ峰学園」建設を通じて育んできた友情の絆を一層深いものとし、両都市相互の発展をはかる。
栃木県 日光市(旧藤原町) (昭和60年5月10日提携)	世界遺産「日光の社寺」を代表とする貴重な歴史的・文化的遺産などを有し、国内外から1,000万人を超える観光客が訪れる。鬼怒川、川治、奥日光湯元、湯西川温泉など日本有数の温泉保養地でもある。 平成18年3月20日に今市市、日光市、藤原町、足尾町、栗山村が合併し、日光市となる。	東武鉄道によって直結という関係を背景として培ってきた住民同士の交流を一層促進し、友情の絆を深め、両都市の進展に寄与することを目指す。
福島県 南会津郡南会津町 (旧田島町) (昭和61年10月8日提携)	福島県の南西部に位置し、東北地方の南の玄関口。「会津田島祇園祭」は、国の重要無形民俗文化財に指定されている。 平成18年3月20日に田島町、館岩村、伊南村、南郷村が合併し、南会津町となる。	昭和61年の会津鬼怒川線の開通により浅草と直結した。これを契機として友情と連帯の絆を結び、もって相互の繁栄と住民生活の一層の向上を目指す。
福島県 大沼郡会津美里町 (旧会津高田町) (昭和61年11月21日提携)	福島県の西部に位置し、会津文化発祥の地として知られる。東北最古の焼き物である会津本郷焼、150種10万本のあやめが咲き誇るあやめ祭りが有名である。 平成17年10月1日に会津高田町、会津本郷町、新鶴村が合併し、会津美里町となる。	学童疎開を機縁として育んできた友情と信頼を基に、一層の交流を進め、住みよい地域社会と豊かな住民生活のため惜しみない努力を行う。
大分県豊後大野市 (旧朝地町) (昭和62年12月10日提携)	彫塑家朝倉文夫の生地。原尻の滝(日本の滝100選)など奥豊後の雄大な自然を持ち、磨崖仏等の文化財も有する。大分県を代表する農業地帯である。 平成17年3月31日に朝地町、三重町、清川村、緒方町、大野町、千歳村、犬飼町が合併し、豊後大野市となる。	台東区名誉区民である故朝倉文夫の芸術を介して育んできた友情と信頼を一層深め、豊かな地域社会の発展と住民生活向上のため、たゆまぬ努力を誓う。



オーストリア ウィーン市 第1区イネレシュタット (平成元年4月5日提携)	音楽の都ウィーン市の行政区の1つ。シュテファン大聖堂やオペラ座など歴史的建築物や文化遺産が点在し、世界中から多くの観光客が訪れている。	歴史と文化の街という共通点があり、区内小学校音楽部の訪問をきっかけに、文化や人的交流の発展をめざし提携している。
デンマーク グラズサックセ市 (平成12年4月17日提携)	福祉先進国デンマークの首都コペンハーゲンの北西にある緑豊かな都市。ポート競技が盛んで、平成21(2009)年にはカヌーのワールドカップが開催された。	福祉ボランティア研修や中学生教育使節団の相互訪問をしていたことから、福祉・教育等で互いの発展をめざし提携している。
山形県 村山市 (平成20年10月25日提携)	最上川沿いに開けた緑豊かな農村都市。稲作の他にサクランボ、りんご等の果樹栽培も盛ん。元祖そば街道や東沢バラ公園(かおり風景100選)がある。	浅草寺への大わらじ奉納を機縁として、育んできた友情と信頼を礎に、互いに活力に満ちた豊かな地域社会の発展と住民生活向上のため、惜しみない努力をする。

区の連携都市一覧

(連携期間は平成29年4月1日から4年間)

都市名	締結の経緯
北海道 河東郡鹿追町 (平成29年3月22日協定締結)	小学校児童の宿泊体験の受け入れや、本区の小学校児童の北海道体験の派遣などの交流実績がある。また、バイオガスパラントによる環境保全や「花と芝生のまちづくり」に積極的に取り組んでおり、環境・産業分野での連携を図る。
茨城県 筑西市 (平成29年3月22日協定締結)	区内における農産物のPR活動や、小学校児童を招待し、里山体験を行うなど、積極的に交流を行っている。地理的にも比較的本区に近く、区内におけるイベント参加等を通じた産業分野での連携を図る。
滋賀県 長浜市 (平成29年3月22日協定締結)	長浜市の観音像と文化を紹介する施設「びわ湖長浜 KANNON HOUSE」を区内に設置しているほか、東京藝術大学と共同で特別展を開催した実績がある。区内で積極的に事業展開をしていることから、文化・観光・産業分野での連携を図る。



ふるさと交流ショップ 台東